

ポーランド政治クロノロジー(2011年12月)

月	内政	外交
12月	<p>1日 コモロフスキ大統領,国防費について,現在の基準(GDP1.95%以下)を継続すると発言。</p> <p>1日 トゥスク首相,ピエトラ汚職対策担当政府代表,コズウォフスカ=ラエヴィチ男女機会均等担当政府代表を任命。</p> <p>1日 トゥスク首相,PSL と協調しながら,施政方針演説内容は着実に履行していくと発言。</p> <p>1日 トゥスク首相,シコルスキ外相の「ベルリン演説」のテーゼについては了承したと発言。</p> <p>1日 下院,ノヴィツカ下院副議長(パリコト運動)に対する解任案を否決。</p> <p>4日 「法と正義」(PiS),政策プログラム骨子を発表し,トゥスク首相施政方針演説を批判。</p> <p>6日 政府,2012年予算案を承認(経済成長率を2.5%,財政赤字を350億ズロチ/GDP比3%以内と想定)。</p> <p>6日 パブラク副首相,雇用者・労働者・政府三者間協議の政府代表を辞任したい意向を示唆。</p> <p>7日 コモロフスキ大統領,下院にポーランド代表ユニフォームに鷲紋章を義務づける国旗・国家に関する改正法案を提出。</p> <p>8日 PiS,憲法改正案(特にEU関連)を提出すると表明。</p> <p>10日 SLD 臨時党大会,ミレル元首相を新党首に選出。</p> <p>12日 ミレル SLD 新党首,女性党,緑の党,労働組合等の左派グループとの協力関係を維持すると表明。</p> <p>13日 戒厳令30周年関連式典(世論調査によれば,47%のポーランド人が「戒厳令」を正当化,32%が正当化されるべきでないと判断)。</p> <p>13日 下院,障害者に対する社会保障手当の引き上げ法案を可決。</p> <p>13日 PiS,戒厳令30周年に際し,「独立と連帯のための行進」を実施(於:ワルシャワ)。</p> <p>13日 PiS,「戒厳令」関連3法案を提出。</p>	<p>1日 コモロフスキ大統領,バルト三国の大統領と四者会談(-2日,於:エストニア)。</p> <p>1日 シコルスキ外相,EU 外務理事会に出席(於:ブリュッセル)。</p> <p>1日 「EUと南方近隣諸国」会合開催(-2日,於:ワルシャワ)。</p> <p>1日 第2回EU・露市民社会フォーラム開催。</p> <p>1日 チェニユフ参謀総長,ポーランドが欧州軍団(EURO CORPS)の6番目の基幹国となるための交渉開始に関する文書に署名(於:ベルリン)。</p> <p>5日 シコルスキ外相,アフガニスタンに関するボン会議に出席。</p> <p>5日 チェニユフ参謀総長,露訪問(-6日)。</p> <p>7日 シコルスキ外相,NATO 外相会合に出席(於:ブリュッセル)。クリントン米国务長官と個別に会談。</p> <p>7日 ポーランド及びウクライナ農相,農業分野における協力の覚書に署名(於:ワルシャワ)。</p> <p>8日 トゥスク首相,欧州理事会に出席(-9日,於:ブリュッセル)。</p> <p>8日 シャモニャク国防相,ウクライナ訪問(-9日,於:キエフ)。</p> <p>9日 米特殊作戦軍司令官マクレイブン海軍大將及びNATO 特殊作戦司令部長クスナー空軍中將,ポーランド訪問。</p> <p>12日 シコルスキ外相,EU とグルジア・モルドバとの「深化した包括的自由貿易協定(DCFTA)」交渉の開始を記念する式典に出席(於:ブリュッセル)。</p> <p>12日 シコルスキ外相,ベラルーシの人権活動家であるピエラツキ氏にポーランド外務大臣賞を授与。</p> <p>12日 ポーランド国境警備隊,Interpolの国際指名手配に基づきベラルーシの反体制活動家ミハレヴィチ氏(チェコ政府により政治難民に認定)を空港にて逮捕。</p> <p>12日 外務省,ミャンマーの国民民主連盟の若手活動家8名をポーランドに招待。</p> <p>14日 トゥスク首相,欧州議会でポーランドのEU 議長国を総括する演説。</p>

<p>14日 下院, 2012年政府予算案の審議開始。</p> <p>14日 最高裁判所, 10月の総選挙が有効であったことを公式に確認。</p> <p>14日 全ポーランド労働組合連合(OPZZ), 政府の年金支給年齢引き上げ案に反対すると表明。</p> <p>15日 トウスク首相, 下院でEUの将来に関する演説。SLD及びパリコト運動は支持を表明。</p> <p>15日 ドルンPiS議員, 「連帯ポーランド」に移籍。</p> <p>16日 下院, PiSによるシコルスキ外相不信任決議案を否決。</p> <p>16日 コパチ下院議長, 下院本会議場の十字架の設置は法律に違反していないと見解を示す。</p> <p>19日 トウスク首相, レシュキエヴィチ国有財産省次官を解任。</p> <p>20日 トウスク首相, ハヴェル・チェコ前大統領の逝去に際し弔問記帳(於:チェコ大使館)。</p> <p>20日 クファシニエフスキ元大統領, パリコト運動党首と会談, 中道左派連合の創設に意欲。</p> <p>20日 ウッジ地方裁判所, PiS事務所を襲撃して, 1名を殺害した犯人に対し終身刑の判決。</p> <p>22日 トウスク首相, セクワ元下院議員を経済副大臣に任命。</p> <p>22日 上院, 障害年金の保険料2%引き上げを可決(2月1日より実施)。</p> <p>26日 「連帯ポーランド」のジョブロ, ツィマンスキ, クルスキ及びヴウォソヴィチ各欧州議員, 「欧州保守改革グループ」から「自由と民主主義のヨーロッパ」への移籍を表明。</p> <p>27日 トウスク首相, トムチキエヴィチ下院議員(前PO院内総務)を経済副大臣(エネルギー問題担当)に任命。</p> <p>27日 首相府, 2012年に23件の法改正を予定している旨発表(農業従事者及び聖職者の社会保障, 定年退職, 天然資源に係る税制, 子育て支援等)。</p> <p>31日 コモロフスキ大統領, テレビ演説にて, 2011年をポーランドにとって安定と政治的継続の年と振り返り, 2012年は大胆且つ慎重な改革の年になると発言。</p>	<p>14日 シコルスキ外相, カリーニングラード全域を対象とする国境小規模移動協定に署名(於:モスクワ)。</p> <p>15日 外務省, 「民主化のための欧州基金」設立が全EU加盟国によって合意された旨発表。</p> <p>15日 第6回欧州開発デー開催(於:ワルシャワ)。</p> <p>15日 チホツキ内相, 内務省及び外務省はInterpolの国際指名手配への対応について見直す旨発表。</p> <p>16日 トウスク首相, キャメロン英首相と電話会談。</p> <p>16日 米上院外交関係委員会代表ムーア議員及びストリング議員, ポーランド訪問。</p> <p>18日 大統領府, 首相府, 外務省等, ハヴェル・チェコ前大統領逝去につき, 追悼メッセージを発表。</p> <p>19日 コモロフスキ大統領, 中国訪問(-22日)。</p> <p>19日 カタイネン・フィンランド首相, ポーランド訪問。</p> <p>19日 外務省, 金正日・北朝鮮国防委員長の死去を受けて声明を発表。</p> <p>19日 外務省, ベラルーシ大統領選挙後の弾圧事件1周年を機に声明を発表。シコルスキ外相, スウェーデン・英・独外相とともに, 公開書簡を発表。</p> <p>20日 シコルスキ外相, ネミリア・ウクライナ元副首相(ティモシェンコ元首相の側近)と電話会談。</p> <p>21日 即席爆発装置(IED)の爆発により, ポーランド軍アフガニスタン派遣部隊の兵士5名が死亡。</p> <p>22日 アシュトン EU外交・安全保障政策上級代表, シコルスキ外相宛にEU議長国の成功を祝福する書簡を送付。</p> <p>22日 トウスク首相, アフガニスタンのポーランド軍基地訪問。死亡した5名の兵士の追悼式典に出席。</p> <p>22日 アフガニスタン派遣部隊の兵士1名が病死。</p> <p>23日 ボルセヴィチ上院議長, ワレス元大統領(コモロフスキ大統領の代理), ズドロイエフスキ文化相等, ハヴェル・チェコ元大統領の国葬に出席(於:プラハ)。</p> <p>23日 シコルスキ外相, ベラルーシの政治犯に宛てたクリスマスのメッセージを発表。</p> <p>27日 コモロフスキ大統領, バルカン半島におけるKFOR(NATO), EUFOR(EU)ミッションへのポーランド軍派遣期間を2012年6月30日まで延長。</p>
--	---